

核セキュリティ関連の認定制度について

1. 核セキュリティ業務従事者向け認定

- 国際原子力機関（IAEA）開催：核セキュリティトレーニングコース修了証
- 米国・カナダ等のドナー国開催：核セキュリティトレーニングコース修了証
- ISCN等、各国の地域トレーニングセンター（Nuclear Security Support Centre: NSSC）等提供：核セキュリティトレーニングコース修了証
- 世界核セキュリティ協会開催：WINS Academy「世界初の核セキュリティのための国際認定プログラム」修了証
 - ・現在、核セキュリティ業務従事者のための国際的な資格制度は存在せず、トレーニング修了証明に留まる。
 - ・IAEAは各国やNSSCによるトレーニングを支持しているが、他国・他組織のトレーニングコース教材や修了証の公的保証はしていない。
 - ・WINS Academyについては、2016年核セキュリティサミットの共同声明での支持表明や、職場で求められ受講した（WINS Academyの報告書より）など、国際的支持を得ている。

【参考】WINS Academy：「世界初の核セキュリティのための国際認定プログラム」(international certification program for nuclear security management)について

- ・国際NGO世界核セキュリティ協会（WINS）により2014年に開始。
- ・eラーニングによる自習（約40時間）と試験（オンライン）、また2講義（必修のFoundation Moduleと、9つの選択Moduleから1つ）を受講。
- ・試験に合格すると修了証が発行され、5年間有効。
- ・2021年1月5日時点で、100カ国1,650人が登録し、426人が合格している。

2. その他：トレーニング実施者の品質保証制度

- トレーニングを提供する組織の品質を保証する国際認定制度（ISO29993：公式教育外の学習サービス—サービス要求事項）
 - ・生涯に渡る学習を含んだ学習サービスの質を担保するものであり、核セキュリティの観点から見た教材や講師の品質、トレーニング内容の品質保証ではない。